第５回ベートーヴェンピアノソナタ(全32曲)連続演奏会

ベートーヴェン巡礼2027

管谷 怜子

ピアノリサイタル



2027

1/5(火)

開演 19:00 開場 18:30

Program

ベートーヴェン

ピアノソナタ第13番変ホ長調作品27-1「幻想曲風ソナタ」
ピアノソナタ第15番ニ長調作品28「田園」
ピアノソナタ第17番ニ短調作品31-2「テンペスト」
ピアノソナタ第21番ハ長調作品53「ヴァルトシュタイン」

浜離宮朝日音楽ホール

(東京都中央区築地5-3-2)

【Ticket】全自由席

一般 ¥5,000 学生 ¥3,000

公式HPから　クレジット決済　teket

【お問合せ】 090-9604-1663

ryokosugayahidokei@gmail.com

「名器を弾きこなす」格闘と調和のベートーヴェン！

NY Steinway CD368　使用楽器

1912製、世界的な巨匠が愛用した近代クラシック黄金時代のピアノである。
歯切れのよい重低音とメロウな中音域、輝くような装飾音とダイナミック・レンジの広さを持っている。

管谷怜子讃―各界の声

♥圧倒される技術の素晴らしさ、ダイナミックレンジの広さ、間（ま）への感受性の豊かさ、そして絶妙なテンポの揺れ、おそらく本人は意識せずに自然に弾いているだけだと思うが、その感性はとても素晴らしい。特にベートーヴェン三大ソナタは、圧巻の演奏だった。それぞれのソナタの第3楽章が終るたびに会場からふぅと言うため息が聴こえるのは、圧倒されて聴いていたからだろう。
（Y・Dさん）

♥7月15日浜離宮朝日ホールのコンサート、拝聴させていただきました。
想像以上の素晴らしい演奏でした。 私がこれまで鑑賞してきたコンサートの中でもダントツ！No.1の演奏だったと思います。 それどころか、現在録音でしか聴くことのできない往年の巨匠ピアニスト達から現在世界中の現役ピアニスト達の演奏と比べても（演奏家の個性、多様性を考慮しても）優にベスト１を争える演奏内容だったと思います。（J.Oさん）

♥フルトヴェングラーを思わせる不思議な共通点
低音が全体の響きを支える安定した和声と，それから自然に決まるテンポ。今鳴っている音が，次の音の予感に震えていて，吉田秀和のいう「植物の成長のように自然に展開する」音楽の流れができている。確信に満ちた徹底した分析の跡と，良い意味でのアマチュア的音楽の感興が同居しており，聞き手を引き込む魔力がある　（K.Hさん）

YouTube

管谷怜子YOUTUBEチャンネルを是非聴いてみてください！

ベートーヴェンピアノソナタ
全曲演奏プロジェクト



管谷怜子名演集



管谷怜子　Ryoko Sugaya



福岡市出身。世界的ピアニストである故野島稔氏に師事し桐朋学園大学大学院修了。
慶應義塾大学文学部（美学美術史学専攻）卒業。ウィーン音楽コンクール特別賞受賞。
2007年FFGホールにてソロデビュー。
各地でソロリサイタルを開催しつつ、ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団、九州交響楽団と共演。2012年から2024年まで取り組んだJ.S.バッハ鍵盤楽器作品の全曲連続演奏会は、音楽家としての揺るぎない信念を示す壮大な試みとして注目される。
2022年までピアノ教室と九州大学で後進の指導に当たっていたが、現在は演奏活動に専念。
2023年福岡で管谷怜子後援会「日時計の丘」が発足。
2024年40代でCDデビュー。二つのCDアルバムが「ANAクラシックチャンネル」でオンエアされる。今年、完全未編集のライブ録音CDをリリース。
2025年よりベートーヴェン没後200年の2027年に向けて「ベートーヴェン巡礼2027：ピアノソナタチクルス（全32曲）」連続演奏会に取り組んでいる。今年７月浜離宮朝日ホールでの「カーネギーホールへの挑戦」プロジェクトも始動し各地での演奏会が予定されている。
音楽と真摯に向き合う姿勢に共感する熱烈なファンが全国に増え続けている。

【主催】 ㈱クランファーベ企画